

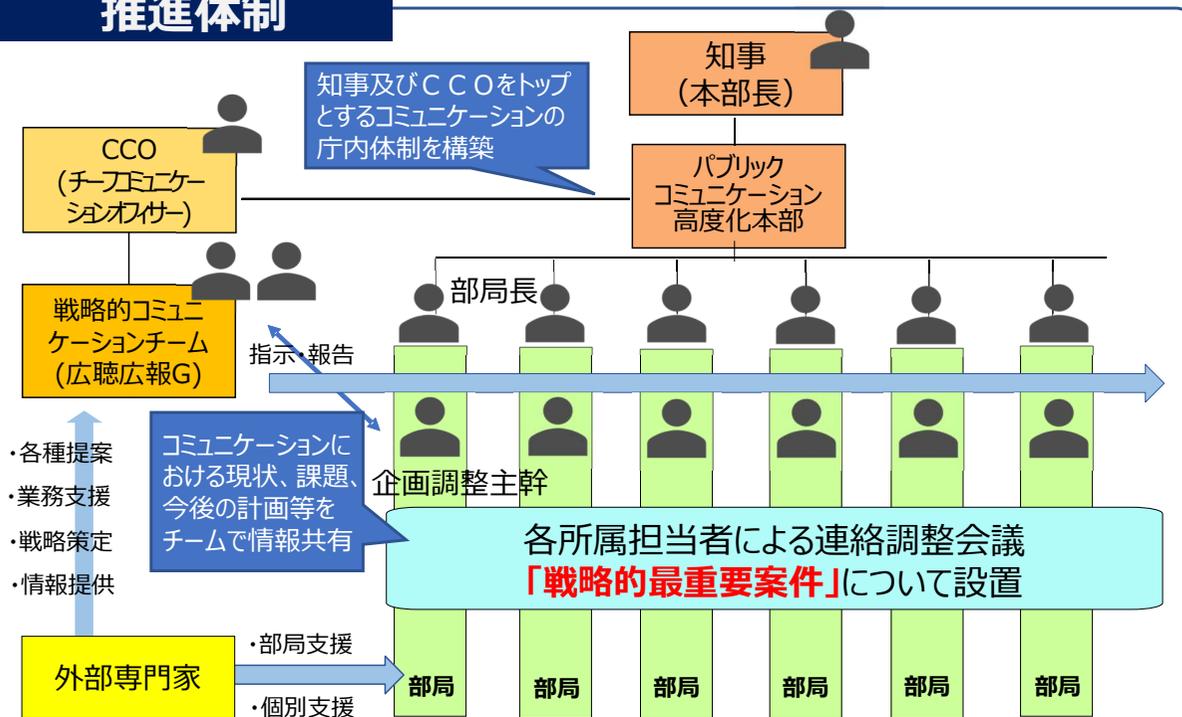
パブリック・コミュニケーションの高度化

参考資料
令和6年度パブリック・コミュニケーション
高度化本部会議資料を一部修正

背景

- 施策は、**ステークホルダーの理解・共感を獲得し、行動変容につなげる**ことで、初めて効果が発揮される。
- 素晴らしい施策であっても、**実施しただけでは不十分**であり、関係者にきちんと届き、納得感をもって**受け入れられて初めて意味を持つ**。
- ステークホルダーの**無関心・無理解・誤解**や**県による現場の理解不足等の解消**なくしては効果的な施策の推進は期待できない。

推進体制



POINT!

- ① 知事を本部長とするパブリックコミュニケーション高度化本部を設置。
- ② CCOと戦略的コミュニケーションチームを設置し、部局とともにPCを推進。
- ③ 関係部局による連絡調整会議（タスクフォース）を設置。
- ④ 企画調整主幹等は、各部局のPC全般の責任者（広聴広報グループに兼職）となり、CCOや戦略的コミュニケーションチームとともにPCを推進。

効果・目標

- 庁内体制の強化により、先手を打った効果的なコミュニケーションで**施策や事業の効果の最大化**を図る。
- 県民をはじめとするステークホルダーに県の意図や施策等を正確に理解いただき、**県民福祉の向上**を図る。